

第 142 号

発行 令和 6 年 1 月 25 日

編集 佐倉河地区振興会

水沢佐倉河字西沖ノ目 4-1

(電話・FAX 23-3361)

【ホームページ】

<http://userrrs.catv-mic.ne.jp/~200-01/>

広
報

瑞穂

みずほ



謹 賀 新 年

本 年 も よ ろ し く お 願 い い た し ま す



年頭のごあいさつ

佐倉河地区センター長 菅原和康

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様には、穏やかな新春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。



見事な門松は、八幡緑豊会さんに飾っていただ
きました。大変ありがとうございました

昨年中は佐倉河地区振興会事業に対しまして、格別のご理解とご支援ご協力を頂きまして感謝と御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと当地区では、佐倉河小学校創立150周年記念式典並びに祝賀会が盛大に行われ、そして佐倉河小学校の卒業生が30年前に埋めたタイムカプセルの開封セレモニーを行い、思い出話に花を咲かせ話題となりました。振興会行事としては、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いが5類に移行し、佐倉河まつりや協働のまちづくり事業等をほぼコロナ以前と同じように実施することができました。

また、昨年は酷暑の夏で平均気温が過去最高になり毎日の暑い日が思い出されます。明るい話題としては、大谷翔平選手が日本人初のアメリカ大リーグの本塁打王、2度目の満塁MVPを獲得したことで地元にも勇気と感動を届けてもらいました。

今年には辰年で甲辰(きのえたつ)。この干支は新たな成功を目指して何かにチャレンジするのに最適と言われ、縁起の良い年になると考えられています。地区センターも干支の縁起の良さにちなんで地区民の協調と連携のもとに地域の活力を結集し更なる発展を目指してまいります。地域に明るさと活気が生まれる一年になるよう職員一同頑張つてまいりたいと思います。

結びに、令和6年が皆様方にとってより良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



令和6年佐倉河地区新年交賀会開催



1月6日水沢グラウンドホテルで令和6年佐倉河地区新年交賀会が、ご来賓や地区民113名の出席で行われました。

オープニングは、佐野地区の佐野太鼓の皆さん。新年にふさわしく勇壮な太鼓が会場に響き渡りました。

冒頭、主催者である千葉正文佐倉河地区振興会長は「皆さんそれぞれの立場で地域を支えている。様々な発想から地域が一步一步前に進み、住みやすいコミュニティ



新年の挨拶と抱負を語る千葉正文佐倉河地区振興会長

ができあがるので、辰年の今年から一緒に頑張ってみましょう」と抱負を語りました。また、来賓の方々からも佐倉河地区の更なる躍進を期待するご挨拶をいただきました。祝宴は菅原亮太県議の乾杯の音頭を合図に賑やかに行われ、4年ぶりの平常開催は新年の挨拶や近況を語り合いながらお酒を酌み交わす和やかな様子が見られました。また祝踊も披露され、最後に高橋福治老人クラブ会長の万歳三唱でお開きとなりました。



佐野太鼓による勇壮な太鼓演奏でスタート

令和5年度防犯標語コンクール審査結果

12月26日佐倉河地区センターで、令和5年度佐倉河地区防犯標語コンクールの審査会が行われました。応募数は116名、116作品。審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点が選ばれました。



下記の皆さんが入賞した方々です。おめでとうございます。

【最優秀賞】	見守り隊	どの子も我が子	地域の輪	3年	小野	新太 (宮田)
【優秀賞】	万引きは	自分もかぞくも	きずつける	6年	伊藤	龍平 (佐野)
	カギかけて	みんなに声かけ	心がけ	3年	高橋	結 (宮田)

文化講演会「川柳入門」

12月22日佐倉河地区センターにおいて、文化講演会「川柳入門」が16名参加のもと開催されました。講師は松堂在住の山平雄二さんです。

川柳は俳句と違い、いろいろな制限が少なく作りやすいと言われていています。頭を使い血流が良くない認知症予防にも繋がるようです。初めは川柳の歴史や作り方のコツ等を学び、次に実際に自由な題で川柳を作りました。

講評ではユニークな川柳やサラリーマン川柳等の紹介があり、終始和やかな時間を過ごしました。



和やかで楽しいひとときを過ごしました

親と子の楽しい料理教室 大谷選手にちなんだ料理で4年ぶりに開催



お母さん、お姉ちゃんが見守る中、上手にバナナを切りました

佐倉河地区振興会、食生活改善推進員協議会共催の「親と子の楽しい料理教室」が12月27日佐倉河地区センターで、佐倉河小学校の児童と保護者10名の参加で4年ぶりに行われました。

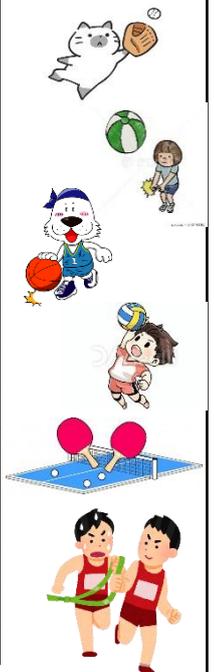
今回は、地元出身のメジャーリーガー大谷翔平選手にちなんだ料理4品を、食生活改善推進員の指導で調理。

子どもたちからは「おいしかった」「皮むきが難しかったけれど楽しかった」、保護者からは「みんなで作ると楽しい」「家でも子どもと作ってみたい」などの感想が寄せられ、料理のおいしさと共に楽しさも味わった料理教室でした。

令和5年度佐倉河地区体育協会主催競技総合結果

	ソフトボール	女子ビーチ	バスケットボール	運動会	相撲	ソフトテニス	男子バレーボール	駅伝	卓球	得点	参加点	合計	順位	全種目参加
栃の木	2	6	×	×		×	×	×	4	12	30	42	8	
上 幅	×	4	2	×		×	参	6	2	14	50	64	5	
一本木	6	10	6	×		参	×	×	×	22	40	62	6	
八 幡	2	8	2	×		×	10	9	8	39	60	99	1	◎
谷 地	8	×	×	×		×	×	5	×	13	20	33	9	
佐 野	×	×	×	×		×	×	×	6	6	10	16	10	
十文字	4	2	4	×		×	8	4	2	24	60	84	3	◎
松 堂	2	×	8	×		×	×	7	10	27	40	67	4	
宮 田	10	2	10	×		×	参	8	2	32	60	92	2	◎
仙 人	2	2	×	×		×	6	10	×	20	40	60	7	

※順位は1位は10点2位8点・・・6位以下1点とする。(運動会と駅伝は1位10点2位9点・・・10位1点)
 ※相撲は全種目参加と順位点数の対象外とする。運動会、ソフトテニスは中止(当日)となりました。



佐倉河地区センター 定期利用団体紹介コーナー

秋 桜

毎週水曜日午前10時から正午まで2時間、佐倉河地区センター体育館でビーチボールバレーを行っています。現在会員数は10名ほどですが、ここ最近では5名から6名で活動しています。

会費は1ヶ月100円から300円程度かかります。

秋桜は、大会へ参加する目的ではなく運動不足解消・ストレス発散・楽しく笑いながらプレイし、免疫力を上げることを目的としている団体です。

一緒にビーチボールバレーをしてみたい方、お待ちしております。

問い合わせ 23-5546

代表者・渡辺 香



2月の行事予定

日(曜日)	行事内容	
2日(金)	定例民生児童委員協議会(地区センター) 13:30~	
8日(木)	定期利用団体調整会議(地区センター) 19:00~	
14日(水)	女性ゼミナール(千厩) 9:30~	
16日(金)	振興会女性理事会議(地区センター) 10:00~	
18日(土)	多世代交流会「ボッチャ」(地区センター体育館) 10:00~12:00	
22日(木)	定例区長会(地区センター) 14:00~	
27日(火)	振興会三役会議(地区センター) 14:00~	

令和6年度 佐倉河地区センター定期利用団体の申し込みについて

地区センターでは、令和6年度の定期施設利用の申し込みを受付します。昨年まで定期利用している団体には、申請に必要な書類を送付しておりますので、記入して2月1日(木)までに、地区センターに提出してください。

新規利用される団体についても、同日までに地区センター(Tel23-3361)までお問合せください。

地区センターでの忘れ物が沢山!

地区センターでの忘れ物をお預かりしています。冬の時期なので帽子、手袋、ポーチ等です。自転車は10段変速。3月末には整理したいと思いますので、心当たりのある方は早めにお申し出ください。



子ども会育成会凧あげ大会デザイン審査

1月7日第51回子ども会育成会凧あげ大会は佐倉河小学校校庭のグラウンドコンディションが悪かったため、地区センターで「デザイン審査」を行いました。当日は90名の参加者が、各地区の凧を披露し審査の結果「グットデザイン賞」に仙人子ども会が選ばれました。



「グットデザイン賞」の仙人子ども会

佐倉河地区の世帯と人口 (令和5年12月31日現在)

行政区	世帯数	男	女	合計	前月比
栃の木	94	138	142	280	△3
上幅	101	127	122	249	△1
一本木	147	193	198	391	△3
八幡	156	200	194	394	0
谷地	158	201	209	410	△2
佐野	105	120	149	269	△3
十文字	160	192	195	387	0
松堂	509	542	554	1,096	△3
宮田	394	486	537	1,023	0
仙人	254	258	280	538	0
合計	2,078	2,457	2,580	5,037	△15

例年にならない暖冬で、過ごしやすい冬がスタートしましたが、これからの天候が行事に影響しないか心配な一年になりそうです。辰年は「荒々しい」「力強い」「勇ましい」あるいは「神秘的」なイメージを感じますが夢が叶いやすい年と捉え、何か新しいものに挑戦してみたいと思っています。7月に20年ぶりに新デザインの紙幣が発行される年でもあることから、2024年にはこれをやったという記念の年にしたいですね。皆さんも一緒に挑戦の年にしませんか。今年も地区センターの行事に参加をよろしくお願いたします。(今野)

編集後記